

広島県におけるジョウビタキの繁殖初確認

上野吉雄¹⁾*・大西順子²⁾・石井秀雄³⁾

¹⁾ 広島県立広島西特別支援学校・²⁾ 日本野鳥の会広島県支部・³⁾ 広島県立千代田高等学校

The First Breeding Record of the Daurian Redstart *Phoenicurus auroreus* from Hiroshima Prefecture

Yoshio UENO*, Junko OHNISHI and Hideo ISHII

報告

ジョウビタキ *Phoenicurus auroreus* は日本に冬鳥として渡来し越冬するツグミ科の野鳥であり、県内でも10月から4月に観察される(日本野鳥の会広島県支部 2002)。夏季にはチベット、中国北部、モンゴル、バイカル湖、アムール流域、満州、ウスリー、ウスリー地方、朝鮮半島などで繁殖する(日本鳥学会 2012)。国内でも北海道と長野県で繁殖が確認されている(松田ほか 1983, 林 2010)。

長野県の八ヶ岳周辺では2010年から2014年にかけて4年連続で繁殖が確認され、定着していることが明らかになった(林・山路 2014)。また、兵庫県のスキー場で2013年にメスと幼羽個体が観察されている(黒田治雄私信)。中国地方では、2014年7月2日に山口県山口市において民家の軒下にジョウビタキのメスが単独で営巣し、5卵を抱卵したが無精卵のため孵化しなかったとの報告がある(上田 2014)。また、岡山県真庭郡新庄村において2014年6月23日にジョウビタキが民家の壁の通気口跡に営巣し、メス1羽で2羽の巣内雛に給餌しているのが観察されている(笹野ほか 2015)。

筆者らは2015年に広島県北西部の2ヶ所のスキー場でジョウビタキの夏季における生息を観察し、そのうち1ヶ所のスキー場では繁殖を確認し、ジョウビタキの県内初繁殖記録となるので報告する。

ジョウビタキの夏季における生息を観察した場所は広島県山県郡安芸太田町恐羅漢スキー場(34° 35' 50" N, 132° 9' E, 標高 900m)と山県郡北広島町オ乙スキー場(34° 47' 20" N, 132° 19' 20" E, 標高 700m)である。

2015年5月17日に恐羅漢スキー場の近くの恐羅漢キャンプ場の電線やアカマツの梢でさえずっているオス1羽を確認した。6月7日にキャンプ場から約3km離れた国営の恐羅漢スキー場でさえずっているオス1羽を確認した。6月13日に国営恐羅漢スキー場でオス1羽が、同時にそこから約500m離れたペンションや民宿のある場所でオス1羽がさえずっているのを確認した。6月14日には隣接したオス同士が争っているのを確認した。恐羅漢スキー場では繁殖は確認できなかった。

6月20日9時30分、オ乙スキー場のライトの鉄塔の頂上でさえずっているオス1羽を確認し、すこし離れた場所でメスも確認した。

6月21日9時15分、ジョウビタキのオスがスキー場の鉄塔に止まっているキセキレイを攻撃しているのを確認した。同15時、ジョウビタキのメスがスキー場入口の民家に造られた巣に餌を運んでいるのを目撃した。巣は屋根の底の下に造られたスズメバチの古巣の中に造られていた。地上約7mの高い位置に造られていたので巣の内部の詳細については観察することができなかった。同15時45分、15時55分、16時、16時20分、16時25分、16時55分、17時10分、17時50分にメスが巣に餌を運ぶのを確認した。また、16時25分、17時25分、18時20分にオスが巣に餌を運ぶのを確認した。

6月28日9時15分、9時40分、9時45分、9時50分、10時10分、10時20分、10時30分にメスが巣に餌を運ぶのを確認した。同9時20分、9時52分にオスが巣に餌を運ぶのを確認した。

7月4日には巢のそばにジョウビタキの姿は見あたらなかったので雛が巣立ったものと思われる。

今回、営巣が確認された巢は民家にかけてられたスズメバチの古巣の中に造られていた。八ヶ岳周辺においてもリゾート施設や別荘地のペンションや住宅などの人工物に営巣し（林・山路 2014）、岡山県でも民家の壁の通気口跡で営巣するなど、ジョウビタキは好んで人工物に営巣するようである。

今回の調査でジョウビタキが県内のスキー場で繁殖していることが明らかになったので、近隣の北広島町の大佐スキー場や 191 スキー場も調査したが、ジョウビタキは確認されなかった。県内の北東部にもスキー場が複数存在するので、これらのスキー場について今後調査する必要がある。また、スキー場に限らず、冷涼で開けた場所で繁殖している可能性も考えられる。

調査にあたって、北広島町才乙の上村 一・末子夫妻には自宅に営巣したジョウビタキの観察を快諾していただき、深く感謝申し上げます。

引用文献

- 上田洋史（2014）ジョウビタキ繁殖行動の観察。やまぐち野鳥だより 234：5
笹野聡美・山田 勝・江田伸司（2015）岡山県におけるジョウビタキの繁殖。日鳥学誌 64：91-94
日本鳥学会（2012）日本鳥類目録 改訂第 7 版。日本鳥学会
日本野鳥の会広島県支部（2002）ひろしま野鳥図鑑 増補改訂版。中国新聞社
林 正敏（2010）本州初の記録か—ジョウビタキ繁殖。いわすずめ 134：4-6
林 正敏・山路公紀（2014）八ヶ岳周辺におけるジョウビタキの繁殖と定着化。日鳥学誌 63：311-316
松田まゆみ・川辺百樹・多田正章（1983）わが国におけるジョウビタキの繁殖初記録。鳥 32：175



A: オ乙スキー場	2015年6月20日
B: ジョウビタキの巣のある民家	2015年6月21日
C: ジョウビタキの巣のあるスズメバチの巣	2015年6月21日
D: さえずるオス	2015年6月21日
E: 巣に餌を運ぶオス	2015年6月21日
F: 巣に餌を運ぶメス	2015年6月21日